

ヴェリタス学習会通信 55

予定表カレンダー →



一部の施設は10月1日以降しか予約ができません

緊急事態宣言は、予定通り10月1日には解除される可能性が高くなりました。一部の施設では10月分の予約ができましたが、10月1日以降ではないと施設利用予約ができないところがあります。10月1日に利用申請書を提出しても、管理人さんの準備の都合で即日利用はできません。

また、10月から、まん延防止等重点措置の対象地域になる可能性もあります。
下の予定に変更があれば、連絡します。

令和3年10月の予定

- ・10月1日(金) **ヴェリタス事務局** 18:30~21:00
- ・月曜日 4・11・18・25日 大安公民館1階研修室 18:30~21:00
- ・水曜日 6・13・20・27日 員弁老人福祉センター1階会議室3 18:00~20:30
- ・木曜日 7・14・21・28日 藤原文化センター2階第1研修室 18:30~21:00
- ・金曜日 8・15・22・29日 北勢福祉センター2階小会議室 18:30~21:00

連絡先

ヴェリタス学習会担当まつみやの携帯電話番号：090-7696-0189 (+メッセージも可能)

メールアドレス：npoveritas@gmail.com

LINE ID：m9s0bay

Facebookの「松宮 卓」に友達申請していただければ Messenger が使えます。
メールやLINE登録をいただいた方には、それを利用して休会連絡を行います。
手数削減協力のため、できる限りご登録ください。LINEを利用して、宿題等の画像を送ってくる子もいます。自分でできるところまでやって送ってもらうと、効果的な返信ができます。



引き続き新型コロナウイルス感染予防にご協力ください



ワクチン接種も順調に進み、新型コロナウイルスの新規感染者数も減少してきました。

しかし、ワクチンを打っていても感染してしまうブレイクスルー感染も報告されていますし、接種が進んでいない皆さんの年代の感染・発症の例もあります。

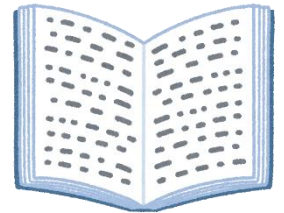
気を抜かずに、引き続き感染予防にご協力ください。



連絡先の欄にも書きましたが、LINE や電子メール等で質問事項を送ってもらっても構いません。すぐには対応できないこともあります。できれば当日、遅くとも翌朝までには返答するようにしています。写真で構いません。時間が許せば Skype や Zoom も利用できます。必要な時は相談してください。

英語の不定冠詞と定冠詞

a, an, the のことを冠詞 (かんし) と言います。さらに a, an は不定冠詞 (ふていかんし)、the は定冠詞 (ていかんし) という名前がついています。



My father bought me **a book**. This is **the book**.

「私の父は私に本を (1冊) 買ってくれた。これがその本です」

冠詞の使い分けは難しく、私は未だに苦戦しているのですが、大まかに次のような認識をしていてください。

不定冠詞の a, an は、話し手と聞き手の間で、特定の本という認識がない場合に使用します。例文の1番目では聞き手にとって、たくさんあるうちの1冊の本にすぎません。その場合は a book を使います。2文目では、定冠詞 the を使っています。こちらは聞き手にも認識ができています。話し手が父親に買ってもらったという本です。先に話を聴いているので、他でもない「ああ、あの本ね」と特定できているわけです。話し手も聞き手も共通認識ができている本なのです。

a と an の使い分けは、発音の都合で

There is **a pencil** on the desk. 「その机の上に、鉛筆が1本あります」

There is **an apple** on the desk. 「その机の上に、リンゴが1個あります」

(中1の方はまだ習っていないのですが、There is.... There are.... で「……があります」という意味になります)

one は「1」「ひとつの」という意味ですね。この one が an となったのが不定冠詞です。ですから、an は「ひとつの」という意味を表します。簡略化がさらに進み an が a となります。この過程で次の単語の先頭の発音が子音 (しいん: おおむね母音 [a, i, u, e, o] ではない文字) ならば a を使うようになりました。

しかし、apple のように母音 (ぼいん: おおむね [a, i, u, e, o] の文字) で始まる語が続くとき、a の母音と次の単語の母音が続いてしまいます。通常で、母音のあとに母音を発音するのは難しいため、子音字の n がある方が都合が良いのです、したがって母音が続く場合だけ a とはならず an が残ったのです。

an egg 「1個の卵」 an orange 「1個のオレンジ」 an island 「1つの島」 an uncle 「1人のおじ」

ただし、あくまでも発音の都合なので、文字だけで決めてはいけない場合があります。文字だけ見れば子音で始まっていると勘違いする hour 「1時間」の h は発音しません。実質的に o で始まっているので、a hour とはならず、an hour とします。



逆に university 「総合大学」は [ユニバーシティ] という発音なので a university とします。

定冠詞 the についても触れたかったのですが、次回に回します。